令和４年度
宇都宮メディア・アーツ専門学校自己評価

令和 5 年 3 月 10 日
第 16 回 学校評議員会

宇都宮メディア・アーツ専門学校自己評価

本校の取り組み

学校評議員制度は、地域住民、学識経験者等を「学校評議員」に委嘱し、学校運営や教育活動について多様な意見をいただき、改善に生かすとともに、学校支援の輪を拡大していくものをめざしていきます。

本校では、平成２５年度から組織的な取り組みに着手しました。自己点検・自己評価報告書を取りまとめ、明らかとなった問題に対する改善の取り組みや、在学生、保護者の皆様をはじめとする関係方々への情報提供を推進しています。

今日、学校・家庭・地域が双方向の信頼関係のもと、それぞれのもつ教育力を高め、より一層の連携・協力を重ねていくことが重要でありますが、学校評議員制度はその柱の一つとして、重要な役割を果たしています。

令和３年度実施にあたって

平成２６年４月、文部科学大臣認定による職業実践専門課程制度が始まり、企業関係者を含む学外委員によって学校関係者評価を実施し、その結果を原則としてウェブで公開することが認定要件に盛り込まれました。職業教育を担う専門学校の情報公開のあり方が新たな節目を迎えたと言えます。

本校では、設置４学科中、卒業生が出ていて認定対象となる４学科が今後職業実践専門課程の認定を受けるべく取り組んでいます。

今後は、企業等との密接かつ組織的な連携体制の強化を図り、より実践的な職業教育を担う専門学校として、学校自己評価・関係者評価に毎年度取り組み、広くご意見をいただきながら、さらなる教育の質の向上、情報提供に取り組んでまいります。

本報告書をお読みいただき、ご意見等お寄せいただければ幸いです。

令和５年３月３１日

学校法人宇都宮美術学院
宇都宮メディア・アーツ専門学校
学校長・学校評価委員会委員長

評価の基準

本報告書の学校自己評価は、平成２５年３月に文部科学省より発表された「専修学校における学校評価ガイドライン」をふまえて、特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構が作成した「専門学校等評価基準書Ver.4.0」に準拠した項目について実施しました。

評価の基準日

令和５年３月１日（令和４年度の評価）

評価報告書の構成

本報告書の各点検項目（５０項目）は以下のような要素で構成されています。

①点検タイトル

②評価観点概要

その項目について「専門学校がどうあるべきか」の基準となる観点を上述の「専門学校等評価基準書Ver.4.0」より抜粋して記載しています。

③評価

基準日における本校の現状についての評価を記述しています。

①課題

改善または発展・向上へのビジョン

②今後の対策

改善すべきと判断する事項がある項目については改善すべき内容と改善方針・計画・予定などを、その他の項目については現状を維持、またはさらに発展・向上させるためのビジョンや取組み等について記載しています。

１．学校の教育理念

本校は、次の教育理念のもと教育の質の向上ならびに教育環境の充実に努めてまいります。

１．実践的な技術・技能を身に付けることに喜びを持ち、生涯続けられる仕事に従事できる人材を育成します。

２．創造力を培い、専門性を高め卒業後役立つ知識や能力を備えたスペシャリストを育成し、地域社会に貢献できる力を涵養します。

３．社会人として他を敬い、感謝し、共に生きるために明るく健康で建設的な意思をもって行動する人材を育成します。

２．学校の教育目標

本校は、以下に掲げる教育目標に向かって産・学・官で連携し、時代のニーズに対応できる社会人の育成に努めてまいります。

１）スペシャリストの育成

現代社会、特に地元産業の求める人材の輩出を目的に、実社会の要請に合わせて、卒業後すぐに役立つ資格、能力、知識を備えた「スペシャリスト」を育成する

２）自ら学ぶことを大切にする教育

教育効果を最大にするための基本は、学生の教職員に対する信頼関係の確立にある。そのために、教職員が模範を示し自ら学ぶことができる学生を育成する。

３）豊かな人間性の形成

資格、技能を持つと同時に、社会的常識とマナーを備え、明るく健康で建設的な意思を持って行動できる人材を育成する。

３．本年度の重点的目標と取り組み

次の点に重きを置き学校を運営していきます。

１）教育内容の充実

・企業等と連携した経験的、体験的、実践的学習を展開する。
・専門力とともに人間力を高める教育の充実
・思考力、判断力、コミュニケーション能力を高める教育の充実

２）学生・保護者の満足度向上

・学生・保護者・学校の情報共有と連携
・三者面談（学生・保護者・教員）の有効活用
・多面的本校理解の推進

３）高い就職率

・在り方生き方の就職指導の充実（自己理解と自己表現）
・「就職実務」の指導内容の充実と方法の改善
・就職につながる企業実習等の重視

４）高い検定取得率

・取得検定の精選と高度化
・就職指導に関連づけた検定対策
・検定関係授業の充実と指導方法の改善

５）安定した入学者数の確保

・魅力ある教育内容の充実と学校作り
・入学関係者のニーズに即した広報活動と対応

６）退学者の防止

・学習、生活、就職活動等におけるきめ細かい学生支援
・あらゆる教育場面を通しての、学生理解と速やかな対応

＜評価項目の達成及び取組状況＞

（１）教育理念・目標

適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１

評　価　項　目・・・上段 達成・取組状況・・・下段		評価
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。	3
	学校理念や教育目標は明確である。	
2	学校における職業教育の特色は何か。	4
	「ものつくり」精神を根底に「現代版職人」の養成を目指し、社会の動向を鑑みてスキルの向上と実践教育を実施している。	
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	3
	職業実践専門課程としての機能を活かし、関連する業界の動向と将来性を常に注視し、学校運営に反映させている。	
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。	3
	入学前のオリエンテーション、入学後、学年ごとに学生、保護者面談等で周知活動を実施しているが不十分である。より保護者に対する情報共有する機会を設け方法を検討する。	
5	学科の目標を学生は理解しているか。	2
	個人差があり十分とは言えない	

①課題

※　理念や学科の目標は、個人差があり十分理解しているとは言えない。

②今後の対策

※　理解不足と思える学生には担任の個別面談やＨＲ活動をとおして理解力を高める。

（２）学校運営

適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１

評　価　項　目・・・上段 達成・取組状況・・・下段		評価
1	目的等に沿った運営方針は明示されているか。	3
	年頭の理事長の挨拶や月例の職員会議・学科会議等で運営方針を示し、職員の共通理解を図っている。	
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
	理事長の運営方針を受け、校長を中心として、各教職員が半期ごとにＰＤＣＡサイクルを実施している。	
3	教育活動に関する情報公開が適切になされているか。	3
	情報公開されているが、公開後の周知などが不十分である。	
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか。	3
	整備されているが、不十分である。	
5	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	2
	システム化されているが不十分である	

①課題

※　学校運営に対する教職員の意識や理解は不十分である。

②今後の対策

※　個々人のレベルから全体へと意識を高める取り組みを、職員会議等に行う。

（３）教育活動

適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１

評　価　項　目・・・上段 達成・取組状況・・・下段		評価
1	教育理念に沿った教育課程の編成。実施方針が策定されているか。	3
	理念に沿った教育課程は編成しているが、実施については不十分である。	
2	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	2
	基準は示されているが、外部教官の授業については任せている部分があり不十分である	
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	3
	学外の関係者に教育課程編成員を依頼し、授業内容の改善に努めている。	
4	学生による授業評価を行い、授業改善等に活用しているか。	3
	前期後期に学生アンケートを実施し、授業改善に活かす為教官への情報開示を行い改善する取り組みを継続する。	
5	成績評価基準を明確化し、客観性・統一性を確保しているか。	2
	単位取得、進級、卒業資格に関して明確にしなければならない。就学規則に明示しているが、より明確にしていきたい。また、サポート校からの入学者も増加しているので、個々の学生に合わせた指導が必要である。	
6	資格取得の指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか。	3
	体系的な位置づけを目指しているが、学科によって違いが生じている。	
7	職員の能力開発のための研修等が行われているか。	3
	取り組みは不十分である。今後、職員研修を実施継続してゆく	

①課題

※　授業アンケートを年間前後期に実施し授業改善に反映させているが、アンケートの内容や反映のあり方を検討する必要がある。

②今後の対策

※　計画的に相互の授業を見学し、授業に対する取り組みの向上改善に努める。また、教職員のスキルを高める研修会の開催を進めたい。

（４）学修成果

適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１

評　価　項　目・・・上段 達成・取組状況・・・下段		評価
1	資格取得率の向上が図られているか	2
	向上を図り取り組んでいるが、年度ごとに学生の意欲が異なり苦慮している。	
2	学生の就職活動状況を把握している	3
	教職員が共通理解を図れるよう定期的に朝の打ち合わせや学科会議などで報告しているが、充分とは言えない。	
3	就職について関連業界と連携しているか	3
	各学科で学んだ内容が活かせるよう、就職活動から指導しているが、充分ではない。	
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2
	在校生の活躍は把握しているが、卒業生については情報を収集してはいるがまだ不備がある。	
5	就職先企業を訪問するなどして卒業生の実態を把握しているか	2
	コロナ感染症の影響で、不十分である	

①課題

※　成績不良者や休みがちな学生へ対策は行っているが、担任の個人差などがあり工夫が必要である。特に、今年度はコロナ感染症対策に追われ対策に遅れが生じた。
※　卒業生に対するフォロー体制を整える必要がある。

②今後の対策

※　定期的な面談、個別指導状況を学科ごとにまとめ、教職員の共通理解を図っている。また、スクールカウンセラーを配置し、悩み相談に対応している。今後もコロナ感染症対策は必要であり、学生対応の工夫が必要である。
※　卒業生の職場訪問を実施し、卒業生の動向について共通理解を図り、学科間及び広報・就職担当や企業と連携を図る。

（５）学生支援

適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１

評　価　項　目・・・上段 達成・取組状況・・・下段		評価
1	学生相談に関する体制は整備されているか	3
	カウンセラーを配置し、定期的に相談を実施している。	
2	中途退学の要因、傾向等を把握しているか	3
	入学後の面接や調査書に記載された内容を分析し、入学前から高校在学中の記録を収集し、保護者と連携して学生の性格等を把握し退学防止を図っている。	
3	中退率低減に向けた学内の連携体制はあるか	3
	カウンセラーを配置し、学生の悩み相談に対応している。また、毎週金曜日の朝の打ち合わせ時に学生の出欠状況等について職員全員で共通理解を図っている。	
4	定期健康診断を実施し、記録を保存しているか	3
	５月に集団検診を実施し、学生の健康管理に努めている。検診で健康面を指摘された学生には個別に指導している。	
5	保護者と適切に連携しているか	3
	必要に応じて適宜連絡し連携しているが、不十分である。	
6	緊急時の連絡体制を確保しているか	3
	校内と保護者向けの緊急連絡網を作成し、緊急時の連絡体制を確保している	

①課題

※　卒業学科の関連企業に就職を希望しない学生や就職活動に消極的な学生に対してのアプローチと成績不振学生に対する支援活動の充実を計る。

②今後の対策

※　早い段階から就職活動を意識させ就職に消極的な学生には、インターンシップなどを勧め職業に対する意識を高めさせていく。成績不振者に対しては、長期の休み等を利用し補講や追試などを実施と共に学生に合わせた就学内容を工夫する。

（６）教育環境

適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１

評　価　項　目・・・上段 達成・取組状況・・・下段		評価
1	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	3
	学科によってバラツキがあり改善に努めている。	
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか。	2
	コロナ感染症の影響で、インターンシップ等実施できない。	
3	学校行事の運営に学生を参加させているか。	3
	実行委員を決めて企画段階から参加させている。	
4	感染症予防対策は整備されているか。	3
	国や県の指導に則り対応している。	

①課題

※　学外の研修について、どのような内容で研修を充実させるか。
※　感染症対策について対応できない学生への取り組みをどうするか。

②今後の対策

※　学生の要望も一部取り入れ、興味・関心が持てるものにする。
※　学校の取り組みを学生に周知する一方、保護者にも取り組みを周知し、注意喚起を促してもらう。

（７）学生の募集と受け入れ

適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１

評　価　項　目・・・上段 達成・取組状況・・・下段		評価
1	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みを行っているか	3
	高校訪問やガイダンスを通して、高校生や保護者、高校教員への情報提供を行っている。	
2	学生募集活動は、適正に行われているか	4
	ガイダンスやオープンキャンパス、高校訪問等を実施するなど広報活動の中で募集活動を行っている。	
3	入学選考基準は規程等で明確に定めているか	4
	毎年、基準を見直すなど規定を明確に定めている。	
4	学生募集において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4
	高校訪問やオープンキャンパス等で適宜伝えている	
5	学生納付金は妥当なものか。	4
	各学科において設備や備品の整備に当て、授業の充実を図っている。	

①課題

※　建築インテリアデザイン科と同系列の学校があるので本校にどのように希望者を増やすか。
※　保護者に対する取り組みについて。

②今後の対策

※　本校の強みを打ち出し、他校との差別化を図りこの分野では負けない魅力的な授業を外部にアピールしていく。
※　高校生が参加する体験に参加された保護者を個別に学科を紹介し理解を図っている。

（８）財務

適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１

評　価　項　目・・・上段 達成・取組状況・・・下段		評価
1	収支のバランスは取れているか	3
	収支のバランスはとれている。	
2	予算の編成を明確にしているか	3
	大枠では明確にしているが、細部については課題がある。	
3	予算編成は教育目標、業務計画と整合性があるか	3
	整合性はとれている。	
4	財務について会計監査が適正に行われているか	3
	適正に取り組んでいるが職員に対しての公開は不十分である。	
5	財務情報公開の体制整備はできているか	2
	財務諸表、事業報告書等は作成しているが、財務情報の公開に関しては、今後検討しなければならない。	

①課題

※　財務情報の公開に関しては、十分とはいえない。

②今後の対策

※　情報公開に関しては、徐々に進んでいる。

（９）法令等の遵守

適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１

評　価　項　目・・・上段 達成・取組状況・・・下段		評価
1	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
	学校教育法、各種養成施設設置規則等を遵守している。	
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
	個人情報管理規程を整備し、文書ロッカーの施錠、使用済名簿のシュレッダー廃棄等を実施している。	
3	自己評価の実施と問題点の改善行っているか	3
	改善は進んでいるが不十分である。	
4	自己評価結果を公開しているか	3
	自己評価結果をインターネット上の学校ホームページに３月にアップしている。	

①課題

※　授業評価アンケート結果から、問題点の改善には努めているが、全体的な一定の改善効果は見られるものの、個別の授業改善の効果が表れるまでには時間がかかっている。
※　自己評価は、実施しているが評価項目等においても課題がある。

②今後の対策

※　教員のＰＤＣＡサイクルにも授業評価アンケートの結果を反映させる。
※　評価項目など評価方法や取り組みについてさらに検討を加える。

（１０）社会貢献・地域貢献

適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１

評　価　項　目・・・上段 達成・取組状況・・・下段		評価
1	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか。	2
	コロナ感染症の影響で開催されていない。	
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	2
	コロナ感染症の影響で開催されていない	
3	産学連携に関する方針・規程を整備しているか。	3
	校内における職員の合意程度なので、方針や規定を整備しつつある。	
4	企業等と連携しての教育プログラム共同研究等の実績はあるか。	3
	企業等から依頼された作品作りは実施しているが、今後プログラムなど精査している。	

①課題

※　社会貢献や地域貢献に興味・関心のない学生をどのように取り込むか。

②今後の対策

※　就職やアルバイトと関連させながら社会貢献・地域貢献の必要性を理解させる。